

# リサイクル対応型 印刷物のすすめ

～まるごとリサイクルできる印刷物をつくろう！～



あなたの「選択」が紙の **リサイクル** をすすめます



財団法人 古紙再生促進センター / 社団法人 日本印刷産業連合会

この冊子は、経済産業省の国庫補助事業による平成19年度「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」の一環として作成されました。

# リサイクル対応型印刷物とは

## ～まるごとリサイクルできる印刷物～

21世紀は環境の世紀と言われ、地球温暖化防止や循環型社会形成といった持続可能な社会づくりに向けて関係各主体が連携し、一体となった取り組みが求められています。

### 紙リサイクルの意義と目標

古紙は、日本全体の循環資源のおよそ1割を占める重要な資源です。2007年、製紙原料に占める古紙の割合（古紙利用率）は61.2%で、ごみの減量化だけでなく、森林資源の保全、地球環境の保全に貢献しています。現在、資源有効利用促進法にもとづき、2010年度までに古紙利用率を62%に向上させる目標が設定され、製紙業界、古紙業界を中心にその達成に向け取り組んでいます。

### 「紙」から「紙」へのリサイクルが求められています

古紙の用途は、段ボールや紙箱（白板紙）などの「板紙」向けと、新聞用紙や印刷・情報用紙などの「紙」向けに分けられます。それぞれの古紙利用率は、「板紙」が92.9%と非常に高く、今後古紙利用率の向上余地は少ないのに比べ、「紙」は39.2%に留まっています（2007年）。

古紙利用率62%を達成するには、「紙」分野の古紙利用率の大幅な向上が必要です。そのためには、出版物などに使用される印刷・情報用紙をもう一度、印刷・情報用紙向けの製紙原料として回収・利用できるようにすることが大切です。

### リサイクル対応型印刷物の普及が鍵

用紙、インキ、製本や表面加工、シールなどの印刷資材の中には、製紙工程でトラブルの原因になるものや、製品（紙・板紙）の品質に影響を及ぼすものがあります。

そこで関係業界が協力して、リサイクル阻害性を克服した資材の開発、評価方法の確立に努め、普及を進めてきました。

今後は、リサイクルを阻害しない資材だけを使って、まるごとリサイクルできる印刷物（リサイクル対応型印刷物）を普及させることが重要です。

### 印刷物製作の企画・設計段階から関係者の協力が必要

リサイクル対応型印刷物を製作するには、企画・設計段階でリサイクルに適した仕様を設計することが、非常に重要です。そのためには、発注者をはじめ印刷物製作に関わるデザイナー、印刷・製本会社、資材の製造メーカーの協力が不可欠です。

不要になったリサイクル対応型印刷物が、きちんと回収されることで、印刷・情報用紙向けの製紙原料の確保が促進されます。

## 紙リサイクルの意義と目標

地球温暖化防止や循環型社会の形成に向けた取り組みへの高まり

紙リサイクルの促進とその必要性

- 古紙は日本全体の循環資源のおよそ1割を占める。
- 古紙リサイクル促進は、循環型社会づくりに大きく貢献。

資源有効利用促進法にもとづき、2010年度までに古紙利用率の目標を62%に設定

目標62%達成に向けて

## 「紙」から「紙」へのリサイクルが求められています

現状(2007年)の古紙利用率(全体) **61%強**

「紙」(洋紙)部門の古紙利用率  
(印刷・情報用紙等) **39%**

「板紙」部門の古紙利用率  
(段ボール・白板紙等) **93%**

今後、古紙利用率の  
大幅な向上が必要

今後、古紙利用率の  
向上余地は少ない

出版物等に使用される印刷・情報用紙をもう一度、印刷・情報用紙向けの製紙原料として回収・利用できるようにすることが重要

## リサイクル対応型印刷物の普及が鍵

リサイクルを阻害しない  
資材等\*だけを使用

印刷・情報用紙

インキ

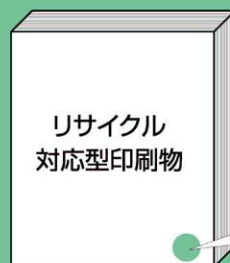
製本材料

表面加工

シール・付録等

\*古紙リサイクル適性ランクリストで規定

まるごとリサイクル可能



下記内容を表示

- リサイクル対応型印刷物であること
- 不要になった際にリサイクルに出すこと

印刷物製作の企画・設計段階から関係者の協力が必要

発注者

デザイナー

印刷・製本会社

資材の製造メーカー

# 紙リサイクル基礎知識データ紹介

## 古紙の回収・利用の現状と目標

2007年の古紙回収率は73.6%、古紙利用率は61.2%です。これまでの推移を見ると、古紙利用率は着実に増加していますが、それ以上に回収率が急速に増加し、回収率と利用率のギャップが拡大しています。

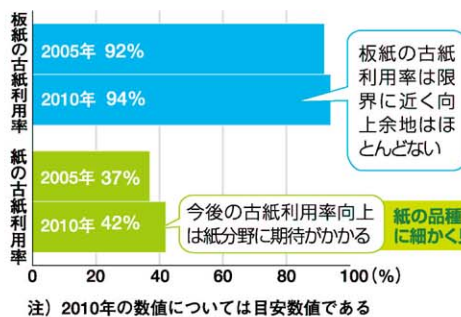
古紙利用率のさらなる向上を目指して2006年に資源有効利用促進法に基づき、2010年度の古紙利用率目標が62%に設定されました。



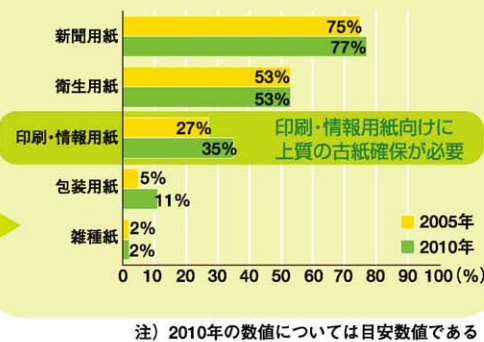
## 古紙利用率目標達成に向けての課題

62%の目標を達成するには、印刷・情報用紙向けの上質な古紙を大量に確保することが必要です。しかし、印刷・情報用紙などの紙分野は、製品品質に対する要求が高く、原料の古紙も品質管理が重要です。

紙と板紙の古紙利用率(2005年と2010年の比較)



「紙」の品種別古紙利用率の内訳(2005年と2010年の比較)



## 「紙」と「板紙」の違い

### 紙

- ・印刷性や美粧性の観点から高い品質が求められる
- ・上質な古紙を大量に確保することが必要

#### 新聞



#### チラシ・雑誌・書籍など



### 板紙

- ・古紙が主原料となっており、古紙利用率向上の余地は少ない

#### 段ボール箱・紙筒など



#### 紙箱・絵本など



## 古紙リサイクル阻害要因

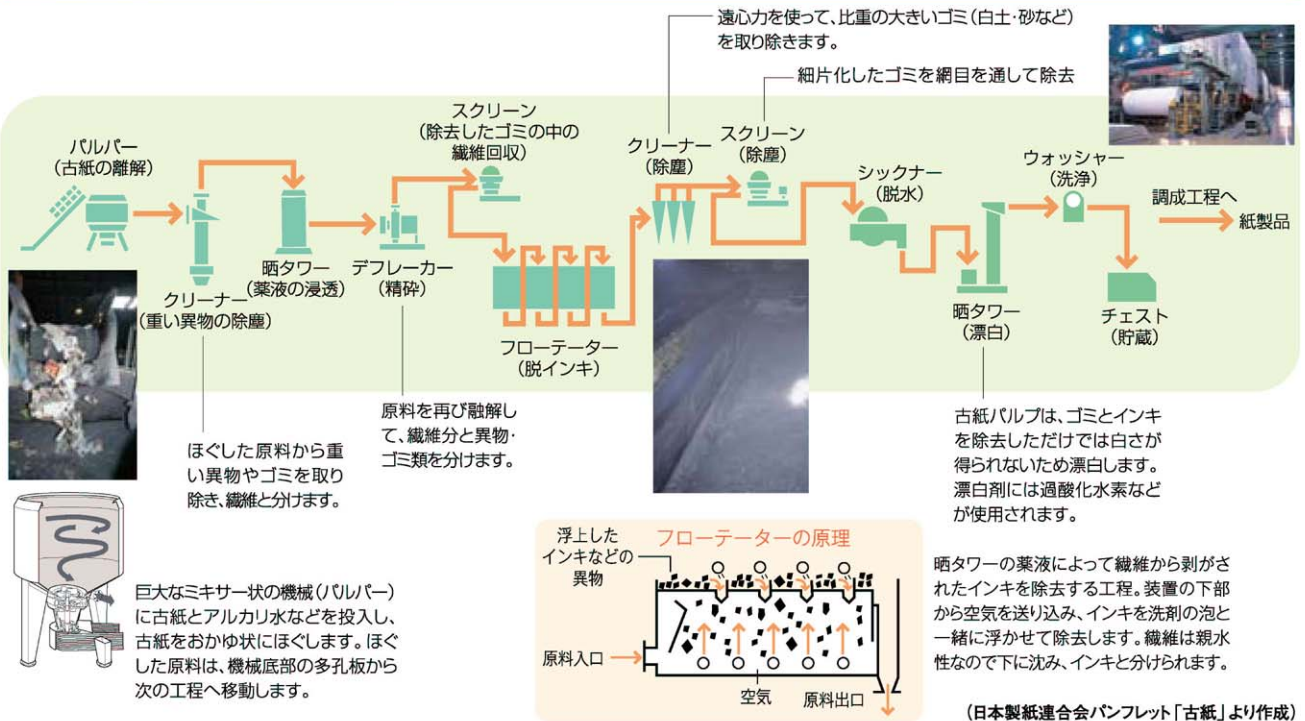
古紙のリサイクル工程はおおよそ次の4つに分けられます。

- 1.古紙をほぐして繊維に戻す(離解)<sup>りかい</sup>
- 2.古紙に含まれている異物やゴミを取り除く(除塵)<sup>じょじん</sup>
- 3.インキを除去する(脱インキ)
- 4.漂白する

印刷資材の中には、古紙リサイクルの工程でトラブルの原因になったり、最終的に生産される紙製品の品質に影響を与えるものがあります(リサイクル阻害要因)。

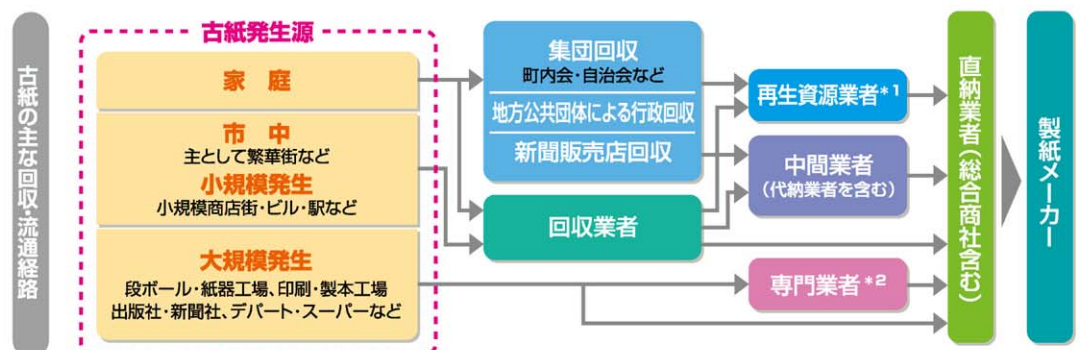
リサイクル阻害性を克服したリサイクル対応型印刷資材を普及していくことにより、使用済みの印刷・情報用紙等を再び紙分野にリサイクルすることが容易になります。

## 古紙から紙へのリサイクル工程



## 表示・案内の重要性

古紙の回収ルートは家庭系、事業系、産業系など、発生源によって異なります。また、地域差もあり複雑です。リサイクル対応型印刷物を製作だけでなく、リサイクル対応型印刷物であることを適切に表示することが分別・回収の第一歩です。



\*1再生資源業者……古紙だけでなく他の再生資源(鉄、びん等)も取り扱う業者です。

\*2専門業者……大量かつ均一な品質の古紙が発生する紙加工工場などのような所からの回収を主として行う業者です。

# リサイクル対応型印刷資材のご紹介

## では、古紙リサイクルを阻害しない印刷資材とは、どのようなものがあるのでしょうか

印刷物製作の企画段階からリサイクルに適した印刷資材を選択することができるように、紙、インキ類、加工資材などの資材ごとに阻害性の明確化、リスト化を行ってきました。

## 古紙リサイクルへの適性、阻害性のランクづけ

下表の古紙リサイクル適性ランクリストとは、印刷物の製作で使われる資材を古紙リサイクルへの適性ごとに、A～Dのランクで示したものです。

**Aランク** 紙、板紙へのリサイクルにおいて阻害にならないもの。

**Bランク** 紙へのリサイクルには阻害となるが、板紙へのリサイクルでは阻害にならないもの。

**Cランク** 紙、板紙へのリサイクルにおいて阻害となるもの。

**Dランク** 微量の混入でも除去することができないため、紙、板紙へのリサイクルが不可能になるもの。

古紙リサイクル適性ランクリスト

	<b>【Aランク】</b> 紙、板紙へのリサイクルにおいて阻害にならない	<b>【Bランク】</b> 紙へのリサイクルには阻害となるが、板紙へのリサイクルには阻害とならない	<b>【Cランク】</b> 紙、板紙へのリサイクルにおいて阻害となる	<b>【Dランク】</b> 微量の混入でも除去することができないため、紙、板紙へのリサイクルが不可能になる
<b>① 紙</b>	普通紙 アート紙／コート紙／上質紙／中質紙／更紙  加工紙 樹脂含浸紙（水溶性のもの）	—  加工紙 色紙（青または色の薄いもの）／ポリエチレン等樹脂コーティング紙／ポリエチレン等樹脂ラミネート紙／グラスンペーパー／インディアペーパー	—  加工紙 色紙（赤、緑、黄または色の濃いもの）／ファンシーペーパー（表紙用等の特殊紙）／樹脂含浸紙（水溶性のものを除く）／硫酸紙／ターボリン紙／ロウ紙／セロハン／合成紙／カーボン紙／ノーカーボン紙／感熱紙／圧着紙	—  加工紙 捺染紙、昇華転写紙／感熱性発泡紙／芳香紙
<b>② インキ類</b>	凸版インキ・平版インキ・スクリーンインキ全般  グラビアインキ溶剤型 フレキシソインキ溶剤型  特殊インキ リサイクル対応型UVインキ（ハイブリッドUVインキ）／オフセット用金・銀インキ／パールインキ／OCRインキ（油性）  特殊加工 OPニス	—  グラビアインキ水性 フレキシソインキ水性  特殊インキ UVインキ／グラビア用金・銀インキ／OCR UVインキ／EBインキ／蛍光インキ	—  —  特殊インキ 感熱インキ／減感インキ／磁性インキ	—  —  特殊インキ 昇華性インキ／発泡インキ／芳香インキ
<b>③ 加工資材</b>	製本加工 製本用針金、ホッチキス等／リサイクル対応型ホットメルト（難燃型EVA系ホットメルト／PUR系ホットメルト／水溶性のり）  表面加工 光沢コート（ニス引き、プレスコート）  その他加工 リサイクル対応型シール	製本加工 製本用糸／EVA系ホットメルト  表面加工 光沢ラミネート（PP貼り）／UVコート、UVラミコート／箔押し  その他加工 シール（リサイクル対応型を除く）	—  表面加工 クロス貼り  その他加工 立体印刷物（レンチキュラーレンズ使用）	—  —  —
<b>④ その他</b>	—	異物 粘着テープ（リサイクル対応型）	異物 ガラス／金物（製本用ホッチキス、針金等除く）／土砂／木片／プラスチック類／布類／建材（石こうボード等）／不織布／粘着テープ（リサイクル対応型を除く）	異物 芳香付録品（芳香剤、香水、口紅等）

（平成18年1月制定）

## リサイクル対応型印刷物のタイプ

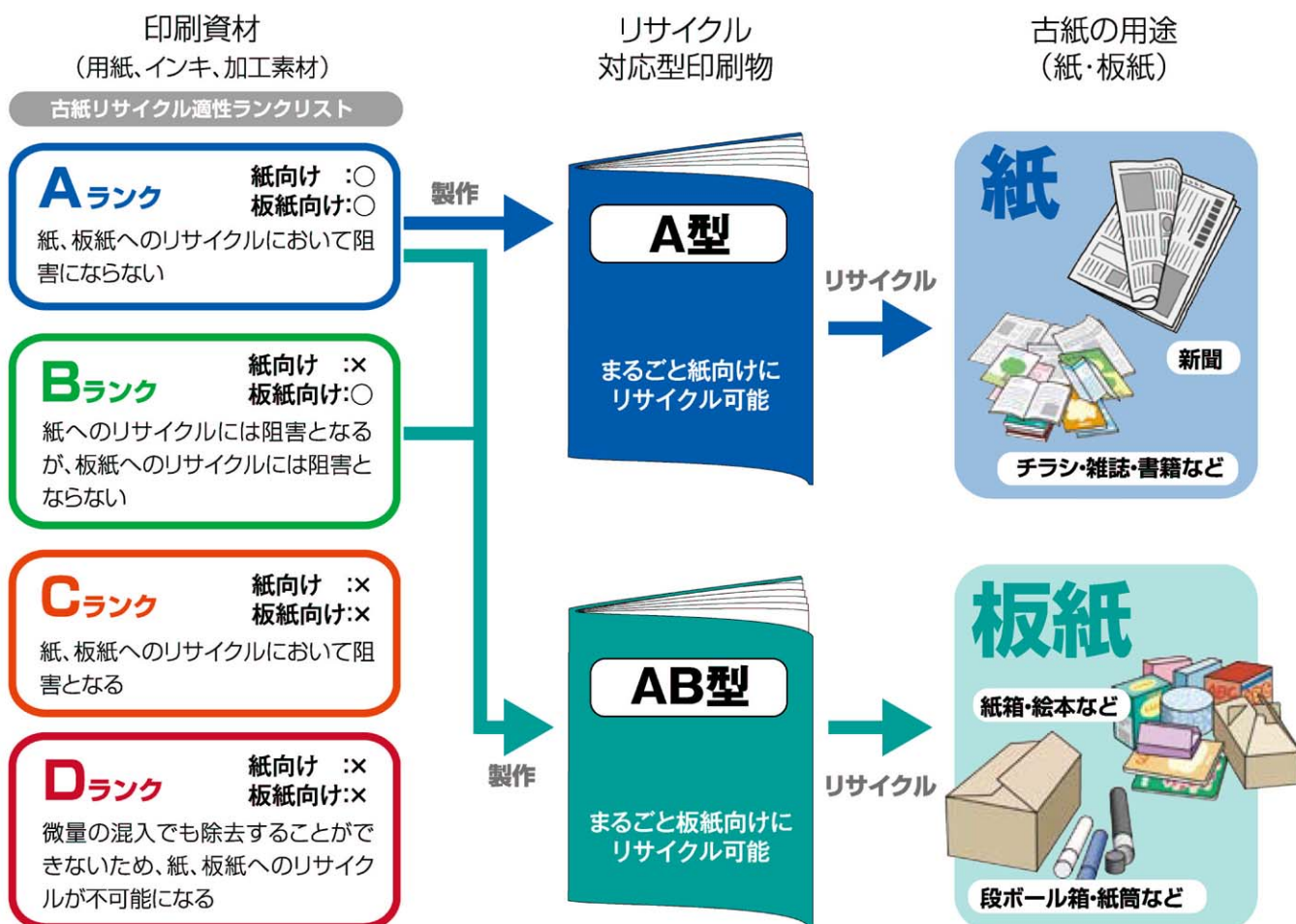
古紙リサイクル適性ランクリストにより、リサイクルにおいて阻害要因となる資材とならない資材が明確にされました。資材ごとの阻害性が明確にされたことにより、リサイクル対応型印刷物は大きく「A型」と「AB型」に分類されます。

### A型:「紙」から「紙」へのリサイクルが可能

- 古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物が、「A型」です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。
- 古紙利用率目標62%を達成するためにも、「A型」の製作、分別・回収、リサイクル利用の仕組みの確立は、重要な意味を持っています。

### AB型:「板紙」へのリサイクルが可能

- 「AB型」は、古紙リサイクル適性ランクリストのAランクとBランクの資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、「板紙」向けの製紙原料として使用が可能です。
- 「AB型」の特徴は、リサイクルを阻害するCランク、Dランクの資材が、使用されていないことが明確な点です。これにより、古紙としての最低限の品質を確保することができます。



# リサイクル対応型印刷資材開発・普及への取り組み

リサイクル対応型印刷資材の開発・普及は、1999年度から経済産業省の国庫補助事業による「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」として行われてきました。

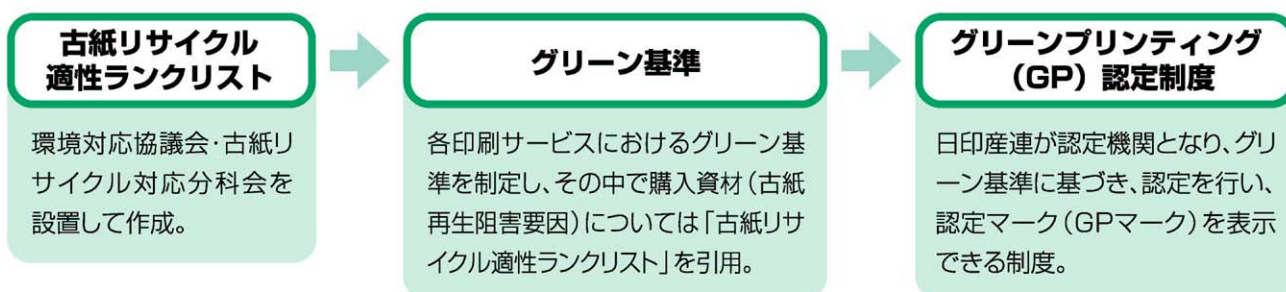
## 事業の概要

事業名	リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業
実施主体	財団法人古紙再生促進センター
委託先	社団法人日本印刷産業連合会
目的	印刷・情報用紙を中心とする洋紙部門での古紙利用拡大
実施内容	紙分野での利用が困難とされてきた素材・加工方法等のリサイクル阻害性評価、改良型製品のリサイクル適性評価の実施、標準試験法の確立、およびリサイクル対応型印刷物の普及。

年度	事業の主な内容
1999~2000	・リサイクル対応型改良ホットメルト接着剤のリサイクル適性評価と標準試験法の確立(右ページ参照)
2001	・リサイクル対応型シール(粘着剤および剥離紙)のリサイクル適性評価
2002~2003	・金銀インキ類・UVインキ類・パールインキ・PP貼りを対象にリサイクル適性評価
2004	・リサイクル対応型シール、UVインキの標準試験法の検討 ・リサイクル対応型印刷資材の使用実態の把握、普及拡大に向けた提言
2005	・リサイクル対応型シール、UVインキの標準試験法の確立と評価基準設定に関する調査の実施(右ページ参照)
2006	・リサイクル対応型印刷物の表示方法に関する調査の実施 ・印刷物発注者、印刷会社に対するアンケート調査の実施 ・リサイクル対応型印刷物の実態および仕様のあり方に関する検討(事例調査)
2007	・リサイクル対応型印刷物製作ガイドラインの作成 ・リサイクル対応型印刷資材のデータベース作成、ファンシーペーパー・抄色紙のリサイクル適性評価

## 環境に配慮した印刷物の基準への反映

印刷業界独自の基準:社団法人日本印刷産業連合会(日印産連)の取り組み



## グリーン購入関連制度

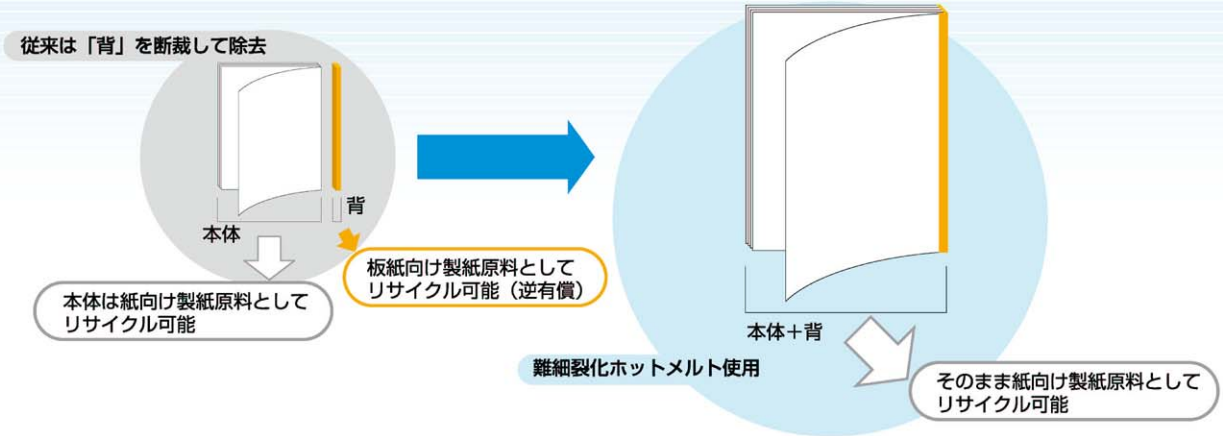
- ① グリーン購入法特定調達品目(環境省):「印刷」の判断基準に反映。
- ② エコマーク(財団法人日本環境協会):  
エコマーク商品類型No.120「紙製の印刷物Version2.0」認定基準に反映。
- ③ グリーン購入(NPO法人グリーン購入ネットワーク):  
グリーン購入ガイドライン「オフセット 印刷サービス」における発注ガイドラインに反映。



## リサイクル対応型印刷資材

### 難細裂化ホットメルト接着剤

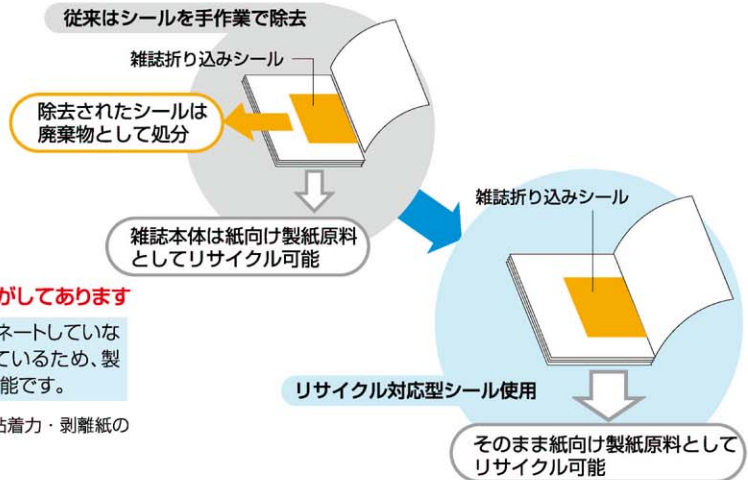
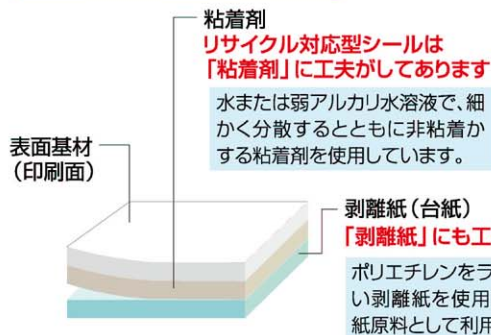
リサイクル工程において細裂化しにくく、スクリーン等の除塵設備で除去しやすい接着剤です。



### リサイクル対応型シール（全離解可能粘着紙）

改良された粘着剤と剥離紙を使用することで、離解し製紙原料化が可能になったシール（全離解可能粘着紙）です。

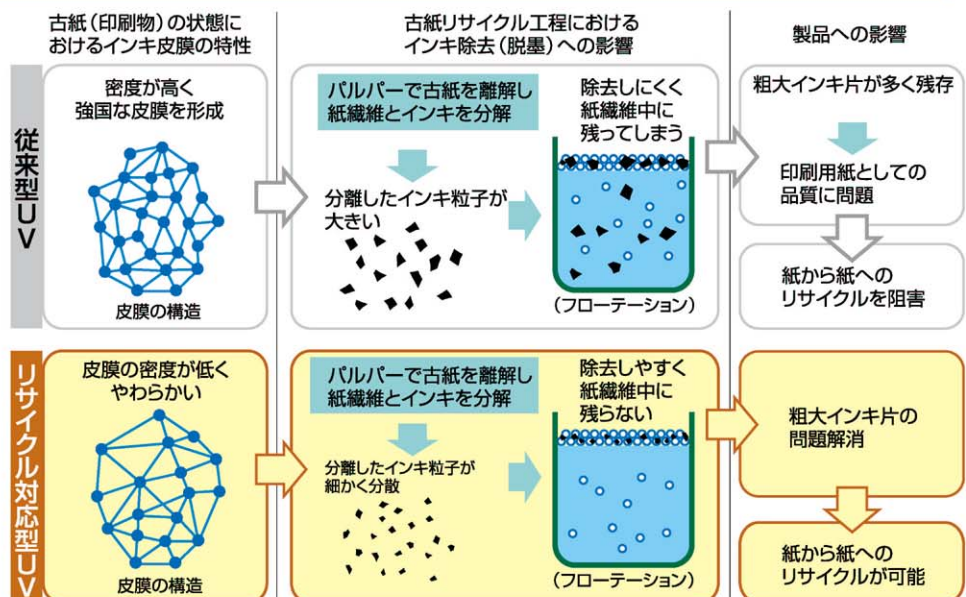
#### リサイクル対応型シールの断面模型図



※シールの実際の厚さは通常0.2~0.3mm程度で、表面素材／粘着剤・剥離紙のそれぞれの厚さは、製品によって異なります。

### リサイクル対応型UVインキ

従来型UVインキに比べてリサイクル工程でインキ皮膜が細かく分離・分散するため、一般的に使用されている油性インキと同程度に脱インキできるUVインキです。



# リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン(案)<sup>\*</sup>の概要

<sup>\*</sup>平成20年度に内容のさらなる検討を行い、確定する予定です。

印刷物の製作にあたっては、企画・設計の段階からリサイクル適性に配慮し、可能なかぎり、印刷物の「目的・機能の充足」と「リサイクル対応」の両立を図りましょう。

そのために、通常の印刷物発注・仕様管理の流れの各ステップで、リサイクル対応型印刷物製作に必要な確認を行いましょ。

## 1. 関係者との相談

◎印刷物の製作が決定したら、発注者として、リサイクル対応型仕様での製作を希望する意思表示をし、印刷会社・デザイナー等関係者と、早い段階から相談しましょう。

## 2. 見積・発注先決定と使用予定資材の確認

◎リサイクル対応型仕様での製作にある程度目途がついた段階で、見積・発注先を決定します。その際、使用予定資材についても確認しましょう。

## 3. 表示(環境主張)と納品仕様の確認

◎納品時に、印刷物への環境配慮内容の表示(環境主張)と納品仕様の整合性を確認しましょう。

◎校正を行う場合には、その段階で、使用予定資材との整合性を確認しましょう。

◎納品仕様を記載した書面は、不要となった印刷物を古紙業者に引き渡す際に重要な情報伝達手段となるので、必ず保管しましょう。

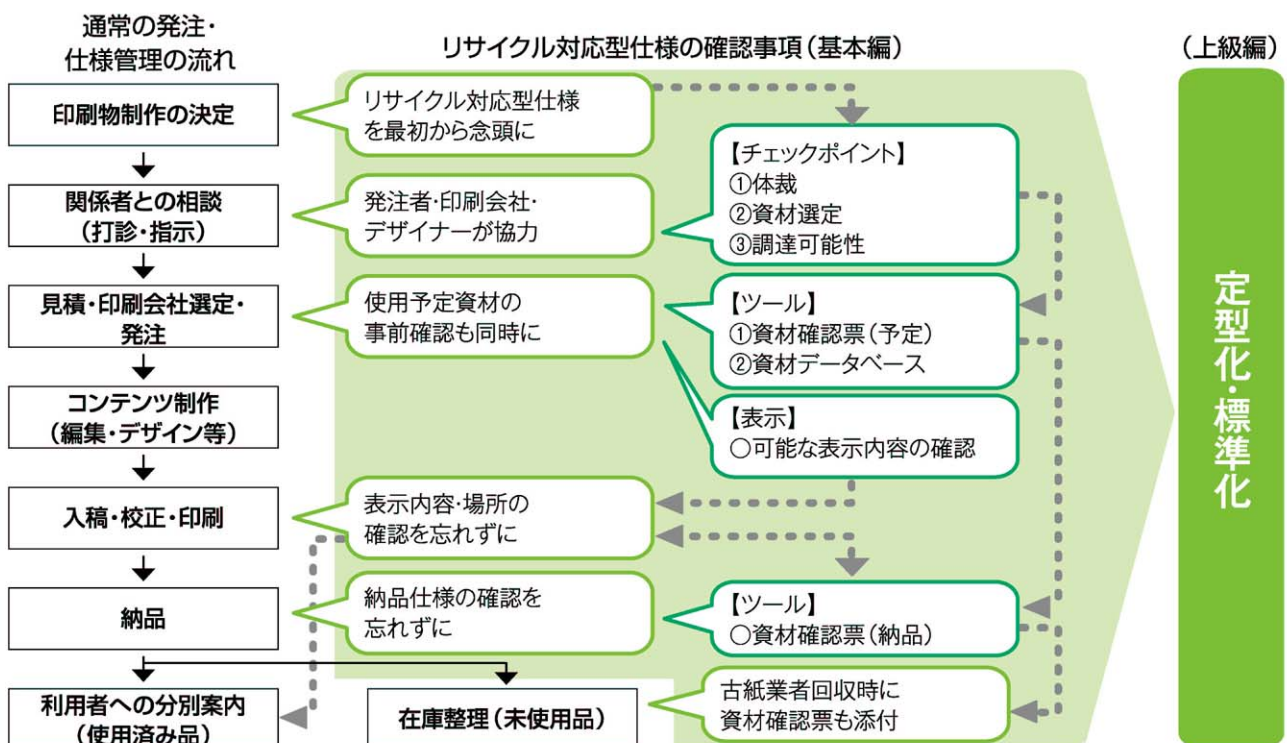
## 4. リサイクル対応型印刷物の表示(説明文)例

◎印刷物のリサイクル適性および使用済みになった場合のリサイクル案内を、わかりやすい場所に表示しましょう。

### 「A型」のリサイクル対応型印刷物表示(説明文)の例

- この印刷物は、印刷用紙などの紙へのリサイクルに適した資材のみを用いて製作しました。
- 不要になった場合は、自治体や事業所のルールにしたがって古紙として分別し、リサイクルに出してください。

<sup>\*</sup>「AB型」の場合は、下線部を「段ボールなどの板紙へのリサイクルに適した資材」とします。



## 企画・設計段階でのチェックポイント

### ①まずは体裁から

印刷物の製作にあたっては、企画・設計の段階からリサイクル適性に配慮し、可能なかぎり、印刷物の「目的・機能の充足」と「リサイクル対応」の両立を図りましょう。

### ②資材選びは同等の効果で、よりリサイクル適性の高いものを

印刷物の目的・機能に応じて、同等の効果が期待できる資材がある場合、リサイクル対応型を選択しましょう。

### ③本当に調達できるかを事前に確認

検討している印刷仕様(体裁・資材)での製作に対応でき、予算・納期などの発注条件にも合致する印刷会社があるか(従来の取引先が対応できるか)、事前に確認しましょう。

### 【資材確認票の様式例】

広告ページ、口絵、カラーページ等、必要に応じて記入

リサイクル適性ランク  
リスト上の分類を記入

使用予定資材の製造  
元・銘柄名を記入

御中

件名： \_\_\_\_\_

作成年月日： \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

\*\*\*\*\* 印刷株式会社

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	分類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文	○	A	上質紙	**製紙/**	
	表紙	○	A	アート紙	**製紙/**	
	見返し	○	A	アート紙	**製紙/**	
	カバー	—	—			
インキ		○	A	平版インキ	**インキ/**	
加工		—	—			中綴じ
	製本のり	—	—			
	表面加工	○	A	OPニス	**化学/**	
その他		—	—			

リサイクル対応		判別
Aランクのみ	A型	○
AまたはBランク	AB型	
C・Dあり	非リサイクル対応型	

リサイクル適性ランクを記入  
(リサイクル対応型印刷資材データベースの  
活用)(メーカー・代理店に問い合わせ)

綴込のハガキ・封筒・申込  
書、貼付の付録等、必要に  
応じて記入

必要に応じ  
て使用箇所  
を記入

# リサイクル対応型印刷資材データベースの紹介

## リサイクル対応型印刷物のページ

リサイクル対応型印刷物の作り方、資材の調べ方などの情報をまとめたホームページを、日本印刷産業連合会のホームページ内に作成しました。大きく、以下の4つの内容に分けて関連情報を整理しています。

- リサイクル対応型印刷物とは？
- リサイクル対応型印刷物を製作するには？
- リサイクル対応型の印刷資材を調べる
- これまでの取組みと成果

## リサイクル対応型印刷資材データベース

「リサイクル対応型の印刷資材を調べる」から、リサイクル対応型印刷資材データベースにアクセスすることができます。

このデータベースで、一定の基準をクリアしリサイクル適性Aランクに位置づけられる印刷資材のメーカー・銘柄情報を調べることができます。

(当初は、難細裂化EVA系ホットメルト、リサイクル対応型UVインキ、リサイクル対応型シール、PUR系ホットメルトの4品目を掲載しています。)

### リサイクル対応型印刷物

home

- リサイクル対応型印刷物とは？
- リサイクル対応型印刷物を製作するには？
- リサイクル対応型印刷資材を調べる
- 取組みと成果
- 参考資料

#### 限りある資源を大切に活用する紙のリサイクル

##### リサイクル対応型印刷物とは？

リサイクル対応型印刷物＝リサイクルを阻害しない資材だけを使って、まるごとリサイクルできる印刷物です。リサイクル対応型印刷物をつくると、雑誌古紙などの古紙の品質が向上し、紙のリサイクルがしやすくなります。

##### リサイクル対応型印刷物を製作するには？

企画・設計のスタート時点から、印刷会社・デザイナー等と相談し、印刷物の目的・機能とリサイクル適性の両立を図りましょう。

##### リサイクル対応型印刷資材を調べる

リサイクル対応型の印刷資材のデータベースを作成しました。難細裂化ホットメルト、リサイクル対応型UVインキ、リサイクル対応型シールのメーカー・銘柄情報を調べることができます。

##### これまでの取組みと成果

平成11年度から、経済産業省国庫補助事業「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」において、リサイクル対応型印刷資材の試験評価等を行ってきました。

このホームページは、経済産業省の国庫補助事業による平成19年度「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」の一環として、財団法人古紙再生促進センターが作成し、社団法人日本印刷産業連合会が運用しています。

▲ 日本印刷産業連合会ホームページに戻る

Copyright © 2008 Japan Federation of Printing Industries

## 初期登録資料一覧 (平成20年3月時点)

### 難燃型EVA系ホットメルト

企業	住所	旭化学合成株式会社	新田ゼラチン株式会社	東洋ペトロライト株式会社
問い合わせ先	〒335-0012 埼玉県戸田市中町2-18-10 汎用接着営業部 048-441-5711 048-441-5850	〒581-0024 大阪府八尾市二俣2丁目22 接着剤事業部開発部 0729-48-8272 0729-48-0004	〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目3番13号 東京営業部 03-3272-0718 03-3272-0844	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.asahimelt.com/ http://www.asahimelt.com/	http://www.nitta-gelatin.co.jp http://www.nitta-gelatin.co.jp	http://www.toyo-petrolite.co.jp/ http://www.toyo-petrolite.co.jp/
製品銘柄	1 アサヒメルトM3151 2 アサヒメルトM3160 3 アサヒメルトM4120 4 アサヒメルトM4500 5 アサヒメルトRP2800 6 アサヒメルトW6090 7 アサヒメルトK1217 8 アサヒメルトRP7500 9 アサヒメルトW6095 10 アサヒメルトJA4910 11 アサヒメルトM3110 12 アサヒメルトM9300 13 アサヒメルトM9400 14 アサヒメルトRPS310 15 アサヒメルトM7100 16 アサヒメルトRPS510 17 アサヒメルトRP5200 18 アサヒメルトRPS720 19 アサヒメルトM9310 20 アサヒメルトM7005 21 アサヒメルトM9425 22 アサヒメルトRPS100A	HS-650 HS-653S HL-661E HL-628ES HL-663A HL-635RC HL-662B HL-629A HL-631 HL-701L HL-701SS HM-RC20MK HM-RC50AKH HS-693R	トヨメルト TM-2027D トヨメルト TM-2120C トヨメルト TM-2245 トヨメルト TM-2250 トヨメルト TM-2486 トヨメルト TM-2521 トヨメルト TM-2550 トヨメルト TM-2780 トヨメルト TM-2820 トヨメルト TM-2822 トヨメルト TM-2862	
企業	住所	ユニオン株式会社	日信化学工業株式会社	日吉化学工業株式会社
問い合わせ先	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 ボンド営業本部 工業用事業部 産業資材部 03-5259-5711 03-5259-5747	〒915-0802 福井県越前市北府2-17-33 研究所 開発技術部 HMグループ 0778-22-4101 0778-22-4316	〒289-2131 千葉県匝路市みどり平3-1 - 0479-73-9884 0479-70-0307	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.bond.co.jp/index.html http://www.bond.co.jp/product/index.html	http://www.nissin-chem.co.jp	-
製品銘柄	1 ボンドA76 2 ボンドBC615 3 ボンドBC660 4 ボンドBC671 5 ボンドBC673 6 ボンドBC677 7 ボンドBC690 8 ボンドBC675 9 ボンドA81 10 ボンドBC666	日信ホットメルト BR-3500 日信ホットメルト BR-3600 日信ホットメルト BR-3701 日信ホットメルト BR-4301 日信ホットメルト BR-3702 日信ホットメルト BR-4305 日信ホットメルト BR-4501 日信ホットメルト BR-3400	ラッキーメルト 634 ラッキーメルト 637 ラッキーメルト Y-338 ラッキーメルト Y-361 ラッキーメルト 639 ラッキーメルト 817	
企業	住所	日本エヌエスシー株式会社	積水フーラー株式会社	日吉化学工業株式会社
問い合わせ先	〒105-0004 東京都港区新橋3-5-10 紙加工接着剤営業部 03-3504-9684 03-3504-9675	〒528-0056 滋賀県甲賀市水口町泉1259 包装紙加工事業部 技術課 0748-62-8154 0748-62-8174	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-4-7 新日本橋ビル 営業本部 東京営業一部 03-3279-4457 03-3279-1780	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.nippon-nsc.com	http://www.s-dine.com	http://www.saiden-chem.co.jp
製品銘柄	1 インスタントロックMV152 2 インスタントロック21AN740 3 インスタントロックMV873 4 インスタントロック34-130A 5 インスタントロック34-141A	エスダイネ8300シリーズ HL-3375W HL-8365W JM-6502	サイビノールHM-680 サイビノールHM-701	

### リサイクル対応型UVインキ

企業	住所	東洋インキ製造株式会社	大日精化学工業株式会社	株式会社 T&K TOKA
問い合わせ先	〒104-8377 東京都中央区京橋2-3-13 RC販売推進部 03-3272-7693 03-3272-0666	〒123-8555 東京都足立区堀之内1-9-4 オフセットインキ生産技術部 03-3899-7921 03-3899-7462	〒354-8577 埼玉県八潮市三芳町竹間283-1 研究第2グループ 049-259-6433 049-259-8822	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.toyoink.co.jp	http://www.daicolor.co.jp	http://www.tk-toka.co.jp http://www.tk-toka.co.jp/product/index.html
製品銘柄	1 FD HBエコー-SOYシリーズ	UV REX SOP HBシリーズ	UV HY-BD シリーズ	
企業	住所	女神インキ工業株式会社	大阪印刷インキ製造株式会社	大日本インキ化学工業株式会社
問い合わせ先	〒118-0002 東京都荒川区荒川1-33-5 技術部 03-5604-6937 03-3803-0429	〒547-0005 大阪府平野区加美西2-8-31 技術部 本社技術一課 06-6791-5664 06-6794-5203	〒174-8520 東京都板橋区坂下3-35-58 平版インキ技術3グループ 03-5392-2252 03-9966-0284	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.megamiinnk.com	http://www.osakaink.co.jp	http://www.dic.co.jp/
製品銘柄	1 メガキューア SO シリーズ	ライトセット OX シリーズ	ダイキョウ ハイブライトシリーズ	

### リサイクル対応型シール

企業	住所	リンテック株式会社	王子タック株式会社	大王製紙株式会社
問い合わせ先	〒112-0004 東京都文京区後楽2-1-2 技術開発室 03-3868-7735 03-3868-7740	〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目2番8号 王子製紙1号館2階 技術部 03-3248-3465 03-3248-3479	〒104-8468 東京都中央区八重洲2-7-2 情報用紙部 情報用紙第二課 03-3271-1465 03-3271-1476	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.lintec.co.jp http://net.ho.lintec.co.jp:10084/search/eco_list.html	http://www.ojita.co.jp	http://www.daio-paper.co.jp
製品銘柄	1 クロスZ カイ PR-4 8K 2 クロスZ カイ PR-4 8R 3	N37-73/W2/U8C N37-73/W21/U8C	サキ73 SBG85 離解A 7ト73 SBG85 全離解強粘 上質タイプ	

### PUR系ホットメルト

企業	住所	日立化成ポリマー株式会社	旭化学合成株式会社	新田ゼラチン株式会社
問い合わせ先	〒101-0047 東京都千代田区区内神田1-13-7 営業本部 接着剤材料グループ 03-3294-4505 03-3293-0898	〒335-0012 埼玉県戸田市中町2-18-10 汎用接着営業部 048-441-5711 048-441-5850	〒581-0024 大阪府八尾市二俣2丁目22 接着剤事業部開発部 0729-48-8272 0729-48-0004	
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.hitachi-polymer.co.jp	http://www.asahimelt.com/ http://www.asahimelt.com/	http://www.nitta-gelatin.co.jp http://www.nitta-gelatin.co.jp
製品銘柄	1 ハイボン[4851] 2 ハイボン[4852] 3 ハイボン[4853]	アサヒメルトUC760 アサヒメルトUC770 アサヒメルトUC771	ARX-1299M1 ARX-1323B1 ARX-1233C5	
企業	住所	日本エヌエスシー株式会社		
問い合わせ先	〒105-0004 東京都港区新橋3-5-10 紙加工接着剤営業部 03-3504-9684 03-3504-9675			
ホームページ	企業ホームページ 製品ホームページ	http://www.nippon-nsc.com		
製品銘柄	1 ULTRA PUR820 2 パーフェクトロックMR95S 3 ボンドマスター 1707563			

# Q&A集

## Q：リサイクル対応型印刷物に取り組む発注者にとってのメリットは？

**A：**印刷物発注者として環境配慮の姿勢を示すことができます。また、リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（p10-11参照）にもとづいて、印刷資材の記録を管理・保管することで、印刷物を古紙業者に引き渡す際に、リサイクル適性面での品質を証明することができます。

## Q：どんな印刷物が対象になるのか？

**A：**基本的にはすべての印刷物が対象になり得ますが、リサイクル対応型印刷物による古紙利用促進効果の観点から特に、発行部数が多い、1部当たりの用紙使用量が多い、使用期間が短い、仕様が定型化している（定型化が容易）等の条件に合致する場合には、個々に印刷物の目的・機能上問題がないことを確認の上、リサイクル対応型印刷物としての製作を推奨します。

### 【リサイクル対応型に適した印刷物の例】

個々の印刷物ごとに、目的・機能の充足とリサイクル適性の両立をご検討ください。

特徴	具体例
<ul style="list-style-type: none"><li>発行部数が多い</li><li>用紙使用量が多い</li><li>使用期間が短い</li><li>仕様が定型化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>雑誌・ムック等の出版物やフリーマガジン</li><li>会員誌、会報、広報誌等出版物以外の定期刊行物</li><li>チラシ、パンフレット、カタログ等の宣伝用印刷物</li><li>報告書、社内報等の業務用印刷物</li></ul>

## Q：リサイクル対応型印刷物の表示の責任は？

**A：**印刷会社等の協力を得て、印刷資材の仕様とリサイクル適性を確認した上で、印刷物発注者の責任において表示を行っていただくこととなります。印刷資材のリサイクル適性確認には、「古紙リサイクル適性ランクリスト」（p6）、リサイクル対応型印刷資材データベース（p12-13参照）をご活用ください。

## Q：リサイクル対応型印刷物のコストは？

**A：**ケースバイケースで、個々に印刷会社から見積をとっていただき、ご確認ください。特別な資材・加工を用いていないのであれば、これまでの仕様で、そのままリサイクル対応型印刷物として表示可能な場合もあります。こうした場合には、これまでのコストと変わらずに製作可能と考えられます。

## Q：リサイクル対応型印刷物を取り扱える印刷会社は？

**A：**基本的には、リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）（P10-11参照）にもとづいて使用予定資材の調査・確認を行うことで、どの印刷会社でも対応可能です。ただし納期が非常に短い、大量部数が必要、特定銘柄の資材を指定、といった場合、対応できない可能性もありますので、なるべく早い段階で印刷会社にご相談下さい。

### Q：リサイクル対応型印刷物の回収体制は？

**A：**リサイクル対応型印刷物の取り組みは、1999年度以降、経済産業省国庫補助による「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」として、製紙・古紙・印刷・製本・印刷資材等の関係団体の協力により進められてきました。製紙業界は、資源有効利用促進法にもとづいて、2010年度の高紙利用率62%を目指して、特に印刷・情報用紙向けの高紙利用率拡大に努めています。今後、印刷物発注者に対する普及啓発とともに、リサイクル対応型印刷物の古紙としての回収についても、古紙業界や自治体に協力を要請していきます。

### Q：リサイクル対応以外の環境配慮は？

**A：**印刷物製作上の環境配慮としては、リサイクル対応以外に、VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制、有害物質の使用抑制、工程の省エネ・省資源・廃棄物発生抑制、納品時の梱包・運搬手段など、多くの項目があります。こうした総合的な環境配慮については、GP認定工場において対応可能です。

## 用語の解説

#### 古紙

通常、製紙原料として回収された、未使用または使用済みの紙、紙製品、書籍等を指します（資源有効利用促進法では、製紙工程で生じるもの（損紙）を除いています）。

#### 紙と板紙

経済産業省生産動態統計調査（指定統計）における品目分類で、「紙」には、新聞巻取紙、印刷・情報用紙、包装用紙、衛生用紙などが含まれ、「板紙」には、段ボール原紙、紙器用板紙などが含まれます。このように一般用語としての「紙」と、統計上の「紙」とは範囲が異なるので、後者を指して「洋紙」と呼ぶこともあります。

#### 古紙回収率

古紙回収量÷紙・板紙消費量で求められます。国内で消費した紙・板紙のうち、国内で古紙として回収された割合を示します。

#### 古紙利用率

古紙消費量÷製紙用繊維原料合計消費量で求められます。投入された製紙原料全体に対する古紙の割合を示します。

#### 古紙利用率目標

資源有効利用促進法にもとづいて1991年に設定されて以降、数年ごとに見直されており、現在は、2010年度の高紙利用率62%を目標としています。

#### GP認定制度

グリーンプリンティング認定制度（略称：GP認定制度）は日印産連が認定機関となり、日印産連「各印刷サービス」グリーン基準に基づき、客観的証明により認定を行い、認定マーク（GPマーク）を表示できる制度です。オフセット印刷部門、シール印刷部門、グラビア印刷（軟包装）部門、スクリーン印刷部門の4部門に分かれています。一定のレベル以上の取組を行っている工場・事業所に対して審査の上、認定・登録を行っています。



GREEN PRINTING JFPI

### 関連情報源一覧

社団法人日本印刷産業連合会：<http://www.jfpi.or.jp/>

財団法人古紙再生促進センター：<http://www.prpc.or.jp/>

日本製紙連合会：<http://www.jpa.gr.jp/>

全国製紙原料商工組合連合会：<http://www.zengenren.com/>

経済産業省3R政策ホーム：<http://www.meti.go.jp/policy/recycle>

## 財団法人 古紙再生促進センター

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階  
TEL03-3537-6822 FAX03-3537-6823  
<http://www.prpc.or.jp>

## 社団法人 日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1丁目16番8号 日本印刷会館8階  
TEL03-3553-6051 FAX03-3553-6079  
<http://www.jfpi.or.jp>

### リサイクル対応型紙製商品研究委員会（平成11～19年度）参加団体

- ・印刷工業会
- ・全日本印刷工業組合連合会
- ・日本フォーム印刷工業連合会
- ・全日本製本工業組合連合会
- ・全日本シール印刷協同組合連合会
- ・全日本光沢化工紙協同組合連合会
- ・印刷インキ工業会
- ・印刷用粘着紙メーカー会
- ・日本接着剤工業会
- ・社団法人日本雑誌協会
- ・日本製紙連合会
- ・全国製紙原料商工組合連合会

#### ○総合的な環境配慮の表示

この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。

【グリーン基準・グリーンプリンティング認定制度は日本印刷産業連合会が制定・運営しています】

#### ○リサイクル適性の表示

この印刷物は、印刷用紙などの紙へのリサイクルに適した資材のみを用いて製作しました。

【用紙:Aランク、インキ:Aランク、製本:Aランク(中綴じ(製本用針金))、表面加工:なし】

#### ○リサイクル案内の表示

不要になった場合は、自治体や事業所のルールにしたがって古紙として分別し、リサイクルに出してください。

